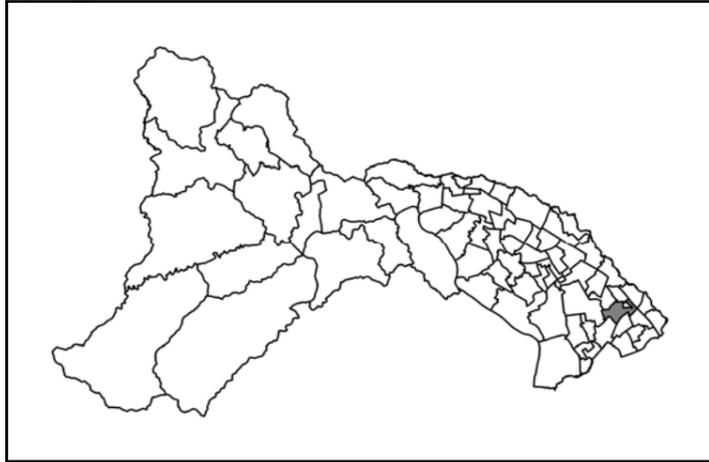


○地区を構成する町丁

【南区】栄町、相模大野2丁目～6丁目、文京1丁目・2丁目、御園1丁目・2丁目、豊町

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野南(自治会法人豊町, 相模大野駅前, ロビィシティ五番街, 相模大野, 鶴の原, 女子大通り, 相模上原団地, 文京, 睦会, 御園一丁目, 自治会法人御園二丁目, 自治会法人谷口, 文京中央)

○地区概況

大部分は平坦な地形である。地区の北東端を国道16号が、南東部を県道51号町田厚木線が通っている。南東端は小田急小田原線であり、相模大野駅がある。相模大野駅前は商業地域になっており、大規模店舗や商店街が見られる。中央付近に相模女子大学があり、周辺の谷口台小学校、県立神奈川総合産業高等学校、大野南中学校、県立相模大野高等学校、相模大野中央公園と合わせて広域避難場所に指定されている。大部分は住宅地である。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)
	区分	棟数	
建物	木造(昭和55年以前)	922 棟	
	木造(昭和56年以降)	1,666 棟	
	非木造(昭和55年以前)	163 棟	
	非木造(昭和56年以降)	832 棟	
	合計	3,582 棟	
人口	区分		人口(人)
	区分	人口	
人口	0～4歳	820 人	
	5～64歳	12,997 人	
	65歳以上	3,969 人	
	合計	17,786 人	

○所見

- ・相模大野駅や商業地域の周辺は、通勤時等に不特定多数の人が多い。
- ・地区内に避難所が2箇所と広域避難場所が1箇所あり、避難は比較的容易である。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	南区役所, 南区合同庁舎, 相模大野駅連絡所, 大野南まちづくりセンター, 相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館), 相模大野図書館, 大野南公民館, 青少年相談センター南相談室(南区合同庁舎別棟), 相模大野パスポートセンター, 南区地域福祉交流ラウンジ, ユニコムプラザさがみはら(市民・大学交流センター)
警察署	相模大野駅前交番
消防署	南消防署
消防団詰所	
病院等	相模原南メディカルセンター, 黒河内病院, 平井クリニック, 原メディカルクリニック, おなかとおしりの桜井クリニック, 相模大野整形・形成外科, 相模大野駅前タワー整形外科・リウマチ科, なすの整形外科クリニック
主な災害時要援護者施設	生活共同組合パルシステム神奈川ゆめコープぬくもり御園, 総合幼児教室 Leafジュニア相模大野教室 総合発達コース, ガーデンテラス相模大野, (仮称)グループホームみさき豊町, 介護老人保健施設 相模大野, まーぶる(知的障害者グループホーム)
幼稚園、保育園	ひよこ第3保育園, 相模女子大学幼稚部, 立正保育園分園ポピー, RISSHO KID'S きらり
学校、大学	大野南中学校, 県立神奈川総合産業高等学校, 谷口台小学校, 相模女子大学高等部, 相模女子大学中学部, 相模女子大学・短期大学部, 相模女子大学小学部
避難所	谷口台小学校, 大野南中学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	相模女子大学一帯
防災備蓄倉庫	南合同庁舎防災倉庫, ※相模女子大学一帯, 大野南中学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	谷口台小学校

○地震被害予測結果

	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	202 棟	5.6 %	13 棟	0.4 %	32 棟	0.9 %
建物焼失	43 棟	1.2 %	3 棟	0.1 %	0 棟	0.0 %
死者	13 人	0.1 %	1 人	0.0 %	2 人	0.0 %
閉込者	78 人	0.4 %	5 人	0.0 %	13 人	0.1 %
重傷者	15 人	0.1 %	1 人	0.0 %	3 人	0.0 %
軽傷者	88 人	0.5 %	20 人	0.1 %	35 人	0.2 %
避難所避難者(当日)	635 人	3.6 %	70 人	0.4 %	131 人	0.7 %
避難所避難者(1週間後)	1,667 人	9.4 %	520 人	2.9 %	821 人	4.6 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床下浸水1戸

